

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和2年9月2日

鉏路市議会議長 松永 征明 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	松永 征明、三木 均
出張先	帯広市
期間	令和2年8月12日(1日間)
用務	行政視察(予算審査特別委員会及び議案審査特別委員会について)
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	※ 公明党議員団 松橋議員とともに出張

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

帯広市議会調査報告書

調査日 令和2年8月12日（水）午前10時30分から12時まで
場所 帯広市議会第3委員会室
調査内容 帯広市議会に於ける予算・決算特別委員会の概要
対応者 帯広市議会事務局
参加者 松永征明、三木均
報告者 三木 均



釧路市議会では、これまで予算・決算の審査に関して決算案は9月定例会において決算特別委員会を組織し審査していた。しかし、予算案に関しては各常任委員会に分割付託するという議案の一体審査の原則に反して審議がなされていたため、予算・決算常任委員会を組織し是正しようということで予算決算検討会を議員運営委員会を基に組織し協議を始めた。先進地として帯広市議会と函館市議会の状況を調査するために、松永征明議長、松橋尚文副議長と議員運営委員会委員長を務めている私と3名で調査した。以下、その報告である。

帯広市議会では、議会運営に関して以前は本会議中心主義であったが、現在は委員会中心主義をとっており、委員の資質向上と市民に分かり易い議論という観点から、委員相互の自由な討議と合意形成を重視している。従って、本会議の運営は原則として委員会の審査、調査を経た後本会議において決定するという形をとる。

釧路市議会と大きく異なる点は、予算・決算を含めた議案審査を非常に重視している点であり、この点は委員会構成や審査方法において顕著である。

- ①委員会は、常任委員会（任期2年、総務委員会8名、その他の委員会は7名で総務、厚生、産業経済、建設文教の4常任委員会）、議会運営委員会（任期2年、定数7名）と特別委員会からなるが、特筆すべき点は、特別委員会の構成と常任委員会との関係にある。
- ②特別委員会は、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会、議案審査特別委員会があり、何れも会期中に設置され定数は各12名、但し一日限りの議案審査特別委員会は11名である。

③議案の審査に関する委員会付託は以下の通りである。

- i 各会計当初予算は、予算審査特別委員会を設置し（3月定例会の会期中、審査実日数概ね7日間）、関連議案と併せて付託する
- ii 各会計決算は、決算審査特別委員会を設置し（9月定例会の会期中、審査実日数6日間）、関連議案と併せて付託する。
- iii 各会計補正予算は、議案審査特別委員会を設置して審査することが適当と認められる場合は、都度設置し関連議案と併せて付託する。
- iv 上記以外は所管常任委員会又は議会運営委員会に付託する。

留意点

- i 予算、決算、議案審査特別委員会の構成は、議員定数の半分を超えないものとし、委員数の割振りは、原則として各会派の所属議員数により按分する。議長及び副議長を除く会派に属さない議員については、各会派の構成比率等を十分に勘案し、構成員（1日限りの議案審査特別委員会を除く）とすることができる。
- ii 各常任委員会は、基本的に閉会中に月1回開催し、例えば会期中に結論を出すことができず継続審議すべきものや条例改正、機構改革などの事務所管関係その他手数料条例など軽微なものなどを含め、所管事務の中からいくつかの「重点調査項目」を設定し審査を行う。重点調査項目以外の質疑は質問通告を事前に提出し行うことができ、その他請願・陳情などの付託案件を審査する。また、政策提案機能を果たしていくために、「調査研究項目」を設け、委員会による政策提案の取組みを進めている。因みに、令和1-2年度は、総務委員会が「(仮称)交通安全対策について」、厚生委員会は「(仮称)妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援について」、建設文教常任委員会は「(仮称)図書館・学校図書館の整備充実について」項目が設けられ、いずれも現在調査中である。